

平成19年度
定期総会議案

と き 平成19年8月9日(木)
午後1時～2時

ところ シティホテル美濃加茂

高山本線強化促進同盟会

総会次第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 来賓祝辞

4 来賓紹介

5 祝電披露

6 議 事

議案第1号 平成18年度事業報告について

議案第2号 平成18年度収支決算について

議案第3号 平成19年度事業計画(案)について

議案第4号 平成19年度収支予算(案)について

議案第5号 高山本線強化促進同盟会会則の改正について

議案第6号 役員任期延長について

報告第1号 会員の異動報告について

7 決 議

8 閉 会

平成18年度事業報告

自 平成18年4月 1日

至 平成19年3月31日

年 月 日	事 業 内 容
18. 6. 27	幹事会を開催し、定期総会の開催方法、提出議案、JRに対する要望事項等を協議（岐阜市）
18. 7. 20	全国鉄道整備促進協議会総会に出席（東京都）
18. 8. 31	全国鉄道整備促進協議会事務担当者研修会に出席（高知市）
18. 9. 11	定期総会（書面表決）を開催し、平成17年度事業報告及び同収支決算並びに平成18年度事業計画（案）及び同収支予算（案）を審議決定
19. 1. 23	東海旅客鉄道株式会社に対し、要望実施（名古屋市） [要望事項] 1 高山本線全線の早期運行再開 2 軌道及び保安施設の強化と防災施設の整備促進 3 旅客輸送サービスの強化改善 4 全線電化及び複線化の促進
19. 2. 23	事務担当者研修会を開催（岐阜市） [テーマ] 富山市における高山本線増発社会実験について
19. 3. 20	西日本旅客鉄道株式会社に対し、要望実施（富山市） [要望事項] 1 高山本線全線の早期運行再開 2 軌道及び保安施設の強化と防災施設の整備促進 3 旅客輸送サービスの強化改善 4 全線電化及び複線化の促進
19. 3. 30	高山本線強化促進同盟会ホームページ開設 (URL http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s11134/takayama-hp/index.htm)

平成18年度収支決算

自 平成18年4月 1日

至 平成19年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	収 入 済 額	差 引 増 減 (△) 額	摘 要
1 負担金	516,000	516,000	0	21団体
2 繰越金	812,000	812,742	742	前年度繰越金
3 雑入	1,000	502	△498	預金利息
計	1,329,000	1,329,244	244	

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	支 出 済 額	差 引 増 減 (△) 額	摘 要
1 会議費	40,000	935	39,065	幹事会開催経費
2 事業費	300,000	22,043	277,957	事務担当者研修会開催 経費
3 事務費	10,000	735	9,265	振込手数料
4 負担金	20,000	20,000	0	全国鉄道整備促進協議会 負担金
5 積立金	954,000	954,000	0	復旧記念事業積立金
6 予備費	5,000	0	5,000	
計	1,329,000	997,713	331,287	

収入合計 1,329,244円

支出合計 997,713円

差引残高 331,531円 (平成19年度へ繰越)

監査報告書（写）

高山本線強化促進同盟会会則第7条第5項の規定により、平成18年度決算について、監査を実施し、証拠書類、帳簿などを精査したところ、適正に執行されていたことを認めます。

平成19年6月25日

監事 下呂商工会会長 中川 正之
八尾町商工会会長 川原 敏彦

高山本線強化促進同盟会

会長 岐阜県知事 古田 肇 殿

平成19年度事業計画（案）

本同盟会は、高山本線が地域における重要な鉄道として大きな役割を果たしていることから、東海旅客鉄道株式会社及び西日本旅客鉄道株式会社に対し、複線電化の早期完成及びスピードアップ、サービス改善等の推進を要望するとともに、平成16年10月の台風23号被害により長期間一部不通となってきた高山本線の角川駅～猪谷駅間が、今秋、全線運行再開の予定となっていることと合わせ、利用者増を図るために積極的な活動を推進することとする。

運 動 の 目 標

- 1 旅客輸送サービスの強化改善
- 2 全線電化の早期完成及び複線化の促進
- 3 軌道及び保安設備の強化と防災施設の整備促進

事 業 計 画

- 1 旅客輸送サービスの強化改善、複線電化の促進、軌道等の強化と防災施設の整備促進について、東海旅客鉄道株式会社及び西日本旅客鉄道株式会社と協議し、その実現を強く働きかける。
 - ・特急「ワイドビューひだ」号の増発
 - ・部分線増、一線スルー化、分岐器の改良等によるスピードアップ
 - ・朝夕の通勤・通学時間帯及び昼間時間帯における普通列車の充実
 - ・季節的臨時列車の増発、企画切符の導入など観光客増加策の推進
 - ・北陸新幹線延伸を視野に入れた強化方策の推進
- 2 利用者増を図るため、復旧記念事業等の啓発活動を積極的に展開する。
- 3 情報・資料の収集に努めるとともに、高山本線の果たす役割、重要性について広報活動を推進する。
- 4 全国鉄道整備促進協議会等関係諸団体と連携し、本会事業の促進を図る。
- 5 その他、運動の目的を達成するため、会長が必要と認める事業を実施する。

平成19年度収支予算(案)

自 平成19年4月 1日

至 平成20年3月31日

収入の部

(単位:千円)

科 目	平成19年度 予 算 額	平成18年度 予 算 額	差 引 増 減 (△) 額	摘 要
1 負担金	480	516	△36	20団体
2 繰入金	954	0	954	復旧記念事業積立金
3 繰越金	331	812	△481	前年度繰越金
4 雑入	1	1	0	預金利息
計	1,766	1,329	437	

支出の部

(単位:千円)

科 目	平成19年度 予 算 額	平成18年度 予 算 額	差 引 増 減 (△) 額	摘 要
1 会議費	300	40	260	総会、幹事会開催経費
2 事業費	1,431	300	1,131	復旧記念事業経費、 事務担当者研修会経費等
3 事務費	10	10	0	振込手数料
4 負担金	20	20	0	全国鉄道整備促進協議会 負担金
5 積立金	0	954	△954	
6 予備費	5	5	0	
計	1,766	1,329	437	

平成19年度負担金内訳表

(単位：円)

団 体 名	負 担 金 額	団 体 名	負 担 金 額
愛 知 県	36,000	白 川 町	8,000
岐 阜 県	72,000	飛 騨 市	36,000
岐 阜 市	36,000	岐阜商工会議所	8,000
高 山 市	36,000	高山商工会議所	8,000
美濃加茂市	20,000	神岡商工会議所	8,000
各務原市	20,000	下呂温泉観光協会	8,000
下 呂 市	36,000	富 山 県	72,000
坂 祝 町	8,000	富 山 市	36,000
川 辺 町	8,000	高 岡 市	8,000
七 宗 町	8,000	富山商工会議所	8,000
		計 20団体	480,000

高山本線強化促進同盟会会則一部改正の件

高山本線強化促進同盟会会則の一部を次のように改正する。

第6条第1項中「及び名古屋市長」を削る。

第8条に次の1項を加える。

「2 必要がある場合は、第1項の規定に関わらず、役員任期について1年を限度に延長することができる。」

附則

この会則は、平成19年8月9日から施行する。

役員任期延長について

役員任期については、高山本線強化促進同盟会会則第8条第2項の規定により、以下の理由から役員任期を1年間延長することとしたい。

延長の理由

以下の2点から、平成19年度においては役員任期を延長し対応することで、効率的に本会の運営がなされると考慮されるため。

- ・平成19年9月8日に、高山本線全線の運転が再開される予定となっており、本会における東海旅客鉄道株式会社に対する要望等の窓口を岐阜県において担当していること。
- ・平成19年秋に、岐阜県を対象としたデスティネーションキャンペーンが開催されることから、関連事業等との調整が図られること。

会員の異動報告

次のとおり、会員の異動がありましたので、報告いたします。

異動の種類	異動年月日	新会員名	旧会員名
脱退	平成19年 3月31日	—	名古屋市

決 議 (案)

高山本線は、これまで70年あまり、我が国のほぼ中央部において日本海側と太平洋側とを結ぶ交通の大動脈としての役割を担い、沿線各地はもとより中部圏全体の交流の活発化を図り、経済・文化の発展、向上に寄与してきた基幹鉄道である。

これからも高山本線は、個性豊かな沿線地域を結び、広域交流圏を形成するうえで不可欠な路線として、沿線地域のインフラ整備とあいまって、中部圏の活性化に大きく貢献するとともに、将来、北陸新幹線が延伸され、高山本線が北陸新幹線に接続されると、首都圏から中部圏への新たな移動ルートとして、一層、重要な路線となることから、その重要性はますます高まるものと確信する。

このような中、東海旅客鉄道株式会社及び西日本旅客鉄道株式会社におかれては、今後、さらに高山本線に関する積極的経営施策を展開し、広域的サービスはもとより、地域密着型サービスの提供に努められるよう、強く要望するものである。

また、これまでも高山本線のスピードアップ、ダイヤの充実等による利便性の向上、鉄道施設の改良、点検、社員教育等による安全対策に努められているところであるが、鉄道輸送の最重要課題である「安全性の確保」のため、より一層の安全対策、安全運行に努められるとともに、下記事項の実現について併せて要望するものである。

記

- 1 旅客輸送サービスの強化改善
- 2 全線電化の早期完成及び複線化の促進
- 3 軌道及び保安設備の強化と防災施設の整備促進

以上決議する

平成19年8月 9日

高山本線強化促進同盟会